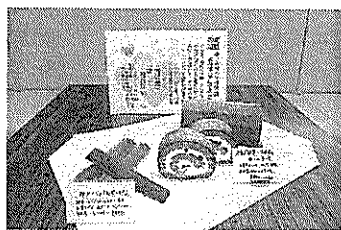


ハートフル



11月22日は「いい夫婦の日」。この日にちなんで今月一日から二十二日まで、大阪府下の和菓子店を中心に、関西や北陸、四国などの七十四の和・洋菓子店で、「よもぎ」を使った菓子を日頃の感謝の気持ちを書いたメッセージを添えて夫や夫人、大切な人などに贈り、その気持ちを伝えてもらおうという店頭販促イベントが実施された。

これは、よもぎの花言葉が「夫婦愛」「決して離れない」で、「いい夫婦の日」の精神に通じることから、「いい夫婦の日」プロジェクト実行委員会が菓子店に呼び掛けて実施されたもので、商品は「よ

千里ニュータウンの北側に位置する洋菓子店・ハートフル(真面目市西宿)では、よもぎと抹茶の生地で五色豆入り生クリームを巻いた「よもぎ抹茶と五色豆のロールケーキ」(一本一三五〇円、一カッ

ト三八〇円)や、抹茶よもぎのフィナンシエ、ダクワーズを販売。伊藤隆オーナーシェフは、「よもぎを生地に混ぜることで、抹茶だけでは出せない苦味が

た縁とピンクの外郎を乗せた上生菓子「幸せ餅」(二八九円)を開発した。書道のたしなみがある濱田康雄代表取締役は、店舗に「決して離れないよう(よもぎ衣で)、君を(黄味あんを)愛情で包み

のよもぎ餅をはじめ、よもぎを使ったパウンドケーキやフィナンシエ、クッキー、ブッセのほか、マドレーヌやクグロフとセットにした「ありがとうセット」(九八〇円)など多彩な商品販売。父の創

74店で販促イベント

11月22日「いい夫婦の日」企画 よもぎの菓子販売

ていた。

◇

JR京都線・千里丘駅前の御菓子司さわや(摂津市千里丘東)では、幸せを運ぶクローバーに託して、よもぎ入りの外郎生地で黄味あんを包み、四つ葉のクローバーをかたどっ

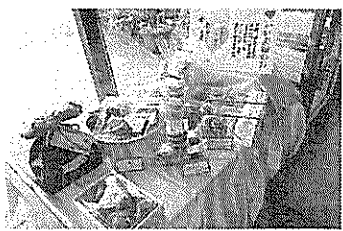
込んだ「幸せ餅」と自筆でしたためたPOPとともに商品をディスプレイした。

◇

東大阪市北部、大東市との市境近くにある御菓子司五條堂(東大阪市東鴻池町)では、元々販売していた定番

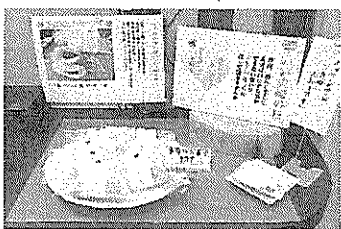


御菓子司さわや



五條堂

菓匠式部庵



味を出した蒸しカステラで大納言粒あんをサンドした「蓬の蒸しかすていら」を販売。山康仁代表取締役は、「よもぎは春の素材なので、この時期ではあまり売れないと思っていたが、意外に売れて驚いた。こういう商品企画は、本来なら製造者である我々の方から投げかけなければならぬ」と思うが、今回は大きな動機づけになった」と話した。

◇

南海高野線・初芝駅前の菓匠式部庵(堺市東区日置荘西町)では、着色料を使わず、天然のよもぎとよもぎパウダーだけで青々とした色

◇

なお同実行委員会では、これを今年だけの企画として実施するのはなく、菓子業界の活性化を目指す永続的な取り組みにしていきたいとしている。